

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆企業統治指針の項目を半減へ 企業負担に配慮、経済安保など対策促す

・金融庁は夏までに改訂するコーポレートガバナンス・コード(企業統治指針)について、企業に求める基本原則などの項目を半減する方針。上場企業の負担を減らし、対応しやすくする。有識者会議で指針の原案を示した。企業統治指針は金融庁と東京証券取引所が2015年に策定。原案を基に議論し、夏ごろまでに改訂する。

◆日経平均終値5万8583円 最高値更新、日銀人事案で利上げ観測後退

・25日の東京株式市場で日経平均株価は大幅続伸した。終値は前日比1262円(2.20%)高の5万8583円で、最高値を更新した。前日の米国株の上昇の流れを東京市場でも引き継ぐ。25日提示の日銀の審議委員人事案を受け、日銀の利上げ観測が後退。外国為替市場で円安・ドル高傾向になったのも追い風になった。

◆政府、国内の景気判断「緩やかに回復」維持 2月の月例報告

・政府は2月の月例経済報告で、国内の景気判断を「米国の通商政策の影響が残るものの、緩やかに回復している」とした。前月までは米通商政策の影響が「自動車産業を中心にみられる」としていた。景気の判断は変わらず、表現の変更で小幅な改善をにじませた。景気判断は18カ月連続で据え置いた。表現は5カ月ぶりに変えた。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆アルミ建材、再生材100%使用へ LIXILやYKKAPが原料の調達難備え

・住宅設備メーカーがアルミニウム建材のリサイクルを拡大。最大手のLIXILは全アルミ製品でリサイクル材使用率を60%以上に上げた。YKKAPは2028年度をめどに専用設備を最大40億円投じ導入。両社とも30年度に使用率100%を目指す。環境規制の強化に加え、アルミ価格の上昇による調達難に備えて各社はリサイクル網を整える。

◆月とつなぐ大型アンテナ局、総務省が拠点整備を支援 最大50億円

・総務省は月と通信するための国内地上局の整備を後押しする。大容量データを送受信できる大型パラボラアンテナの実証を手がける事業者に約4年間で最大50億円まで補助する。月面での探査・活動の本格化に欠かせない通信技術確立し、拡大が見込まれる国内外の需要を取り込む。

◆パナソニックが新型ドアホン、AI顔認証で対応 うろつく不審者は録画

・パナソニックは人工知能(AI)による顔認証機能を搭載したテレビドアホンを6月中旬に発売すると発表。家族などの顔を登録しておけば、自宅に誰もいなくても自動で対応する。専用アプリを使えば、外出先からのリアルタイムでの対応も可能。自宅前をうろつく人はAIで検知し、自動で録画する。

《 注目商品 》

■永大産業、薄型リフォーム用上貼りフロア

・既設の床に上から貼るだけで施工できる薄型リフォーム用上貼りフロア。工期短縮や施工時の騒音・粉塵を抑制し、廃材削減とコスト低減を可能にした。厚さが1.8mmと薄型のため、サッシ枠との段差や建具下部などの干渉を抑え、納まりの良い仕上がりを実現。



■積水ホームテクノ、「介護・自立支援設備wells」浴室のBIMデータ提供サービス

・「介護・自立支援設備wells」浴室のBIMデータ提供サービスを開始。個浴室KGSシリーズのBIMデータを新たに整備し、個浴室1620・1625・2020・2025の4サイズをはじめ連結浴室2033・2037・2041・2533・2537・2541の6サイズ等、計30種類のデータをダウンロード可能。



■トーヨーキッチン、マットメタリック+立体表情の新デザイン

・システムキッチン「BAY(ベイ)」「BAY CUBE(ベイキューブ)」の新デザインとして「S チタニウム2」をラインアップ。マットメタリックな質感と、高圧・高熱処理された特殊樹脂含浸素材「HPL(ハイプレッシャーラミネート)」による立体的なテクスチャーが繊細な陰影を表現。

